

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
数学 I	2	1	改訂版 新高校の数学 I (数研出版)	ポイントノート 数学 I (数研出版)
科目の概要と目標	「三角比」、「集合と論証」、「データの分析」について学習し、基礎的な知識を身につける。また、表現・処理する技能を習得するとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			
単元	学習内容	到達度目標		
第3章 図形と計量 第1節 三角比	○直角三角形 ○三角比 ○三角比の利用 ○三角比の相互関係 ○鈍角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・相似、三平方の定理がわかり、それを利用して三角形の辺の長さを求めることができる。 ・三角比の考え方がわかり、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の考え方がいろいろな場面に利用できることがわかる。 ・三角比の相互関係を問題の解決に利用することができる。 ・鈍角の三角比を求めることができる。 		
第2節 三角比への応用	○正弦定理 ○余弦定理 ○三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦定理を利用して問題が解決できる。 ・余弦定理を利用して問題が解決できる。 ・sinを使って、三角形の面積を求めることができる。 		
第4章 集合と命題	○集合 ○命題と集合 ○必要条件と十分条件	<ul style="list-style-type: none"> ・集合と要素の関係がわかる。 ・全体集合と補集合、部分集合の関係が理解できる。 ・命題の真偽を判断できる。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件の意味が分かり、適切に使うことができる。 ・命題の逆や対遇について理解できる。 		
第5章 データの分析	○データの整理 ○データの代表値 ○データの散らばり ○データの相関	<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布表やヒストグラムで表す方法がわかる。 ・平均値、中央値、最頻値の求め方を知る。 ・箱ひげ図のかき方を知る。 ・偏差、分散、標準偏差について理解できる。 ・散布図の読み取り方がわかる。 ・相関係数の求め方を知る。 		